

第52回全日本歯科学生総合体育大会に向けて

大会副会長 山村 健介

本年、新潟大学歯学部が事務主管校（前田健康大会長）となり第52回全日本歯科学生総合体育大会が開催されます。全日本歯科学生総合体育大会（通称オールデンタル）は、1968年に第一回大会が開催されてから毎年開催されている歯学生のスポーツの祭典で、国内全ての大学歯学部・歯科大学（29校）から7000名近い歯科学生が参加しています。各（競技）部門ごとに優勝校から順に得点を与え、合計得点で総合優勝校が決定されます。福岡歯科大学が事務主管校をつとめた昨年の51回大会では冬期3競技、夏期23競技が行われ、九州歯科大学が総合優勝を果たしました。新潟大学は13競技に参加し、卓球部、弓道部、バレーボール部、陸上部、硬式庭球部が得点を獲得し、総合16位という結果でした。他の大学に比べ学生数が少ないことを鑑みると大健闘と言って良い結果ではないかと考えます。本年も昨年以上に新潟大学歯学部の学生さんが活躍することを祈念しています。

ところで、オールデンタルは、29歯学部を地区別に7つのブロックに分け、各ブロックが輪番で大会を主催します。新潟大学は、愛知学院大学・日本歯科大学新潟生命歯学部・松本歯科大学とともに第5ブロックに属しています。今年は第5ブロックが大会を主催することになっているわけですが、実は主催校の中でも主たる主催校、すなわち事務主管校を輪番で決めています。ほぼ29年ごとに事務主管校が回ってくる計算になりますが、前回新潟大学が事務主管校をつとめたのは私の記憶では1986年ではなかったかと思います。実に34年振りの事務主管校で、学生さんは勿論、教員、事務職員にも全く開催のノウハウがありません。それに加え、今年は2020東京オリンピック・パラリンピックが7月24日から9月6日にかけて開催されます。こ

の期間は例年オールデンタルの夏期競技が開催される時期と重なっており、会場や宿泊施設の確保の困難が予想されたこと、オールデンタルの後援であるスポーツ庁から全国の大学にオリンピック・パラリンピック期間中の大会開催の自粛の要望が出されたことなどから52回大会の準備は難航しました。各大学との調整の結果、夏期競技部門は例年の開催期間にとらわれることなく、部門ごとに開催期間を決めることになり、例年夏期に開催される硬式庭球、バドミントン、バレーボール、バスケットボールなどが3月に開催となり、他の競技も5月から9月にかけて競技部門ごとの分散開催となっています。この場をお借りして、他大学教職員との調整に尽力くださった、学務係をはじめとする事務の方々、実行委員長の濱島君と実行委員会のメンバー、他大学学生との調整に尽力してくれた清野君、荒井君、ポスターをデザインしてくれた小林さんをはじめとする学生さんに御礼申し上げます。

新潟大学は事務主管に加えて、硬式庭球、バドミントン、バスケットボール、サッカー、ゴルフ、剣道、水泳で競技部門主幹も担当します。それぞれの部の顧問の先生には部門会長をお引き受けただいております。部員である学生さんも開催に向け尽力しております。どうぞ皆様のあたたかいご支援、そしてご声援をお願いいたします。

*第51回大会からオールデンタルの開催母体である全日本歯科学生体育連盟にホームページができました (<https://alldental-ac.net/>)。今後各競技部門の開催期間や会場、参加校などの情報がアップロードされると思います。会場近くの皆さんは応援に駆けつけていただけると嬉しく思います。

追記) 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、3月開催予定であった競技部門は全て中止となってしまいました。早い収束を心より願っております。



第52回全日本歯科学生総合体育大会に向けて

歯学科3年 濱島 北斗

はじめまして。このたび第52回全日本歯科学生総合体育大会（オールデンタル）の実行委員長を僭越ながら務めさせていただくことになりました歯学科3年の濱島北斗です。今回のデンタルは東京五輪の開催と重なり、開催時期をずらして行う競技もあると聞いています。私自身はデンタルの競技種目にはない軟式野球部に所属しているため例年がどういったものか分かりませんが、準備を含め例年の大会とは異なった雰囲気になるのではないのでしょうか。

デンタルの開催にあたって主管校として正評議員の片木君をはじめ、先生方、学務の方々のサポートを頂きながら大会に向けて準備が整いつつあります。各部活においても準備に追われて大変であると思いますが、そうした経験を仲間と乗り

越えた末には6年間で一番思い出に残る大会になると思います。

選手としても各部活で大会に向け、日々学業と平行しながら練習に励んでいることと思います。試合において相手はライバルですが終わればノーサイド。同じ歯科の道を志す仲間です。この大会を通して将来の歯科界を担う仲間とスポーツを通して交流を深められるのではないのでしょうか。正々堂々と真っ白な歯のようなフェアプレーで昨年のラグビーW杯にも負けず、東京五輪に弾みをつけるような熱い戦いを期待しています。ただ、手を使う職業であるのでくれぐれもケガには気を付けてください。選手の皆様のご活躍期待しております。



第52回オールデンタルへ向けて

歯学科3年 片木源太

この度第52回デンタル評議委員長を務めることとなりました片木です。今年は新潟大学がデンタル全体として多くの部門で主幹を担っております。自分たちの在学中に主幹校として番が回ってくるということで、同学年である各部の部長たちはいつもより緊張した面持ちで責務にあたっているように思われます。なんといっても2020年はオリンピックイヤー、特に東京周辺ではスポーツ施設、宿泊施設、観光会社等々、大忙しの模様で部活によっては開催する場所を確保することすら難しくいまだ未定のところも見受けられます。しかしながらデンタルは年に一度自分たちの積み上げてきたものを存分に振るう場ですので多くの部活が開催できることを願っております。

私たちの学年は部活ではすでに幹部学年にあたり、部によっては今回が最後のデンタルとなる人も多いはず。いままで当たり前のように学業の隣にあった部活動という大きな存在がもうすぐ一区切りとなります。いままでの自分を十二分に

発揮できるよう準備を進めてくれたらと思います。

今年はオリンピックということで日本中が熱くなっておりますが、その熱に負けないようにオールデンタルも盛り上げていきたいと思っております。イランとアメリカの問題が少し気がかりではありますがオールデンタルとオリンピックが無事盛大に開催されますことを願ひまして私からのあいさつといたします。1年間よろしくお祈いします。



第52回全日本歯科学生総合体育大会にむけて

バスケットボール部 歯学科4年 荒井裕貴

こんにちは、歯学部バスケットボール部です。歯学部バスケ部は、男子部11名、女子部16名の計27名で活動しています。

例年8月の頭に行われる全日本歯科学生総合体育大会（通称：デンタル）ですが、来年度は2020年東京オリンピックと重なるため、前倒して2020年の3月に行うことにしました。なぜこのような言い方なのかというと、第52回デンタルの主幹を務めているのは新潟大学だからです。全国に30近くの歯科大学がある中、まさか自分が部長の代で主幹を務めることになるとは思っていませんでしたし、よりによってその1回が東京オリンピックの年に当たるなんてと頭を抱えながら大会に向けて動き始めてもう1年以上経とうとしています。このような不運に見舞われた私でしたが、そ

れでも主幹の仕事を何とかやっていたのは最高の仲間達に恵まれたからだとつくづく思います。新潟大学バスケ部一丸となってこの大仕事を全うしたいと思います。

ここまで主幹の話しかしていませんが、もちろん練習も頑張っています。男子部、女子部とも前大会の成績を越えるためにも、ますます追いこんでいるところです。

最後になりますが、バスケ部が活動できているのは、外部から練習に来てくれる仲間、忙しい合間をぬって来てくれるOBの方、いつも支援して下さる先生方や卒業生の方々のおかげであり、本当に感謝の気持ちが尽きません。そんな方々の期待に部員一同全力のプレーで応えていきたいと思っています。



第52回全日本歯科学生総合体育大会に向けて

硬式庭球部門 鈴木 気 敏

“2020年の全日本歯科総合体育大会の開催だが、夏はオリンピックと重なるので難しいかもしれない。具体的には春頃の開催が望ましい。”その情報を私達が聞いたのは去年の4月ごろであった。それまでは夏開催ということで予定を組んで準備していたが、急に開催時期が半年ほど足りなくなってしまった。

昨年秋、前年度の福岡歯科大学からの引き継ぎがほぼ完了し、本格的に主管校としての運営が始まった。まずは予算の作成からであった本来ならば例年2月ごろ行っていたそうだが、今年は開催が早まったため、10月中にこれを行わなければならなくなった。しかし当然自分達は主管校という立場は初めてのことなので、わからないことだらけだったが、前年度主管の福岡歯科大学のサポートもあり、急な予算作成にもなんとか対応できた。

12月ごろからは選手登録や参加費用などの全大学への連絡も本格的になり、いよいよ忙しくなった。当然自分達の部活の運営や、学校の実習もあるので、かなり大変だったが幸い自分達の代は上手く仕事を分担することができたので、現時点で

もスムーズに準備を進められていると思う。また、1月になり審判団である千葉県テニス協会との連絡も本格化してきた。基本的にルールの改正がないので、大幅なルール改正のあった前回大会と比べると仕事量は減っているが、それでも例年と同じく、連絡を取り合わなくてはならないので、多忙なのは同じである。

大会開催まで残り2ヶ月となった。運営の方も追い込みの時期となって、これからより多忙になると思われるが、部員一丸となって精一杯主管校としての役割を果たしたいと思う。



第52回全日本歯科学生総合体育大会に向けて バドミントン部門

歯学部バドミントン部主将 小林 雅

この度、全日本歯科学生総合体育大会の部門主管を務めることとなり、大変光栄に思います。今大会は、例年と異なり、東京オリンピックの影響のために夏季ではなく、春季の開催となります。準備期間が、前回大会から半年ほどしかなく、また前回大会までと異なる点も多々あり、戸惑いながらではありますが、少しずつ準備を進めております。

全日本歯科学生総合体育大会、通称デンタルは、全国の大学の部員がこの大会で好成績を収めることを目標に日々練習に励む、大きな意味を持つ大会です。そのような重要な大会を運営することに、大きな責任を感じ、不安に思う部分も多く

あります。しかし、私を含めこのデンタルを楽しみにしている人が多くいること、大会運営のために協力して下さる方がたくさんいることを支えに、無事開催できるよう努力していきたいと思っております。

また、今大会は運営という部分に目が向きがちではありますが、参加選手の一人として、また私たち3年生にとってはこれが最後のデンタルになるため、競技のほうも自己最高の結果を残したいと思っております。部員全員が満足いく結果を残せるように、日々の練習も部員一同切磋琢磨し、努力していきたいと思っております。



第51回全日本歯科学生総合体育大会にて

第52回全国歯科学生総合体育大会に向けて

歯学科3年 馬場 水彩妃

私は、新潟大学に入学してから剣道を始め、3年の月日が経とうとしている。これまで全く縁がなかった剣道を大学から始めた。道着、袴、防具を揃え、新鮮な気持ちで始めたが、先輩、同期は経験者ばかりでついていけず、辛い時期もあった。

しかし、今となっては入部してよかったと思っている。先輩方、同期に支えられ、後輩からも刺激をもらい、とても充実した3年間だった。その中でも、デンタルで得た自信は私にとって一番大きなものだった。2年生のデンタルの個人戦で初めて勝利してからは、部活に対する考え方がかなり変わった。もっと上手になりたい、たくさんの技に挑戦したいと思うようにもなった。前回のデンタルでは、個人戦では負けてしまったが、女子

団体戦では東北大学と合同チームを組み、3位になることが出来た。一緒に戦った東北大学の皆さんや、デンタルを通して仲良くなった他大学の友人からはとてもいい刺激をもらった。

そして今回、デンタルの主幹を務めることとなった。自分自身が大会を運営した経験がないうえ、オリンピックによりいつもとは違う日程・形式となるため、不安しかないというのが正直なところである。一方で、この任務を全うすることが自分にとって貴重な経験になるとも思っている。実行委員長として責任をもち、顧問の先生をはじめとしたOBの先生方、同ブロック校の協力を賜りつつ、参加者にとって良い大会となるよう、精一杯頑張りたい。



デンタルのポスターを作成して

歯学部歯学科3年生 小林 優 佳

新潟から遠く離れた全国の歯科大学の方々に、新潟県の良さを知ってもらいたいという気持ちで、このポスターを描きました。デザインを作る過程で、新潟の魅力やアピールポイントについて考えたり調べたりしていくうちに、新潟県の素晴らしさを再認識でき、良かったと感じています。

デンタルに参加する「選手」、日本三大花火の一つである「長岡花火」、新潟市のシンボルと言える国指定重要文化財「萬代橋」、特別天然記念物の「朱鷺」、佐渡島に伝わる「佐渡おけさ」、そしてお米、お酒、海鮮などの「食べ物」を描きました。全国から新潟に来る歯学部の方々に新潟の特産を知ってもらうきっかけになればと思います。また、自分の生まれ育った新潟という地を見つめ直す、とても良い機会になったと感じています。

そして、デンタルに参加する選手の皆さんを応援する気持ちを込めて描きました。選手の皆さんのご健闘をお祈りいたします。

私は医歯学合同の美術部に所属しているため、選手としてデンタルには参加しませんが、ポスターを製作するという形で、新潟大学が主幹校と

なるデンタルに関わることができ、嬉しく思います。

